

富津市学校給食運営委員会議会議録

1	会議の名称	平成 23 年度第 1 回富津市学校給食運営委員会議
2	開催日時	平成 23 年 7 月 7 日 (木) 午前 10 時 00 分 ~ 10 時 45 分
3	開催場所	富津市役所 4 階 401 会議室
4	審議等事項	(1) 学校給食費の滞納状況について (2) 学校給食の安全・安心について (3) その他
5	出席者名	(委員)十川敬三、岩波正弥、石渡衛、高梨健二、 吉田敏、吉田徳男、沢辺敦子、鈴木譲 (事務局)渡辺教育長、藤平教育部長、山中教育部次長、川名学校教育課長、今井学校教育課主幹、 木村給食係長、秦野副主査、藤田栄養士、井上栄養士、川名事務補助員
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
9	所管課	教育部 学校教育課 給食係 電話 0439(80)1343
10	会議録(発言の内容)	別紙のとおり

平成 2 3 年度第 1 回富津市学校給食運営委員会議 会議録

発 言 者	発 言 内 容
今井主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 2 年度末退職に伴う小中学校長 2 名及び P T A 改選に伴う会長 2 名の変更による新委員に対して教育長より委嘱状を交付することを説明。
渡辺教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付
今井主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・委員 1 0 名中 2 名が欠席だが、富津市学校給食調理場管理運営規則第 8 条 2 項に規定により会議が成立すること及び本会議の内容について、富津市情報公開条例第 2 3 条の規定により公開となることを説明。 ・開会の挨拶。
渡辺教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
今井主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・全委員に自己紹介を依頼。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介
今井主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局は、資料巻末の席次表により確認を依頼。 ・会議資料について確認を依頼。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認
今井主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第の 4、学校給食費の滞納状況について報告することを説明。
川名課長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費の滞納状況についての報告。 <ul style="list-style-type: none"> 1 . 2 ページ、平成 2 2 年度現年度分の状況を説明。 <ul style="list-style-type: none"> 調定額 202,160,290 円 収入額 201,060,348 円 未納額 1,099,942 円 収納率 99.46% 2 . 3 ページ、平成 2 1 年度現年度分の状況を説明。 <ul style="list-style-type: none"> 調定額 216,427,432 円 収入額 215,459,185 円

未納額 968,247 円

収納率 99.55%

22 年度対 21 年度増減 0.09% 収納率の減

3 . 4 ページ、平成 2 2 年度過年度分の状況を説明。

調定額 7,001,825 円

収入額 1,115,120 円

未納額 5,886,705 円

収納率 15.93%

4 . 5 ページ、平成 2 3 年度滞納額内訳を説明。

滞納額合計 6,986,647 円

5 . 平成 2 2 年度給食費滞納整理状況について説明。

年間 76 日

訪問件数 277 件

納付金額 858,220 円

うち、休日滞納整理 5 回

夜間滞納整理 5 回

管理職滞納整理 夏・冬各 2 週間 6 2 件

今井主幹

・議長選出については、富津市学校給食管理運営規則第 8 条の規定に基づき、委員長がこれにあたる旨を説明。

鈴木委員長

・挨拶
・議事録署名人に天羽東中学校長高梨健二氏を指名。
・議事(1) 学校給食の安心安全について事務局の説明を求める。

川名課長

・1 番目に食中毒の発生防止について説明。

柏市立南部中学校において食中毒が発生し、柏保健所が柏市長に対し、給食施設の業務停止の行政処分を行った。

千葉県教育委員会から 6 月 1 5 日に県内各市町村に対し食中毒(ヒスタミン)の発生防止についての通知が出された。

本市においては、県の通知を受け、関係者と協議した結

果、ヒスタミン食中毒の原因食材を使用しないよう、各調理場宛てに通知した。

今後も各種の情報や事件に素早く、敏感に反応して安全・安心な給食の提供に努める。

・ 2 番目に安全な食材の確保について説明。

3月11日発生の東日本大震災に起因する原子力発電所の事故による放射線汚染により、食材の安全性が問われている。

本市では、食材の選定・発注にあたり、流通している食材は基本的に安全が確保されていると思われるが、以下の対応を徹底している。

・ 出荷停止措置がとられた地域の出荷停止食材は使用しない。

・ 出荷停止措置等がとられた食材・地域確認をする。

・ 食材の発注時、納入時に産地を確認する。

・ 出荷制限、摂取制限の対象食材も使用しない。

・ 報道情報にも注意を払う。

食材の放射線物質の検査で合格したものが流通していると認識しているので、本市の学校給食の食材として使用している。

国際放射線防護委員会は学校生活においては、1～20ミリシーベルト/年を超えないようにすることとしており、文部科学省も安全基準を20ミリシーベルト/年としている。この数値は、1時間当たり0.22マイクロシーベルト～2.2マイクロシーベルト以下が安全基準となる。

千葉県における大気環境中の放射線量の測定結果について、3月中は高めであり、4月下旬からは平常値と変わらない。降下物（塵、雨水等）の各種分析については、3月下旬に測定値は最大を記録し、5月18日以降は全く検

出されなくなっている。なお、降雨の時は測定値が高くなる傾向にある。いずれにしても、4月5日以降は極端に少なくなっている。

富津市の状況は11か所の平均値で、最大値は1時間あたり0.12マイクロシーベルトから徐々に下がっている。また、プール水の放射能測定は、全て不検出である。

従って、本市においては放射能による環境汚染は、全くとは言えないが考えづらく、学校給食において富津市産の地産地消の推進に力を入れている。

・ 3番目に計画停電による各調理場の対応について説明。

3月15日以降の6日間、完全な形での給食ができなくなったので中止をした。平常の給食ではなく、既に発注済みであり、納品可能であったパンやデザートと自宅弁当により対応した。

4月は、特別給食ということで7日間配食をした。今後計画停電が実施された場合、特別給食で対応を図る。

・ 4番目にアレルギーをもつ子ども達への対応について説明。

アレルギーをもつ子ども達は、8小学校2中学校で合計14名。

安全・安心な給食を供給する上で、できる限りの対応をすることが望ましいということで、各調理場の実情に合わせて対応をしている。

大貫共同調理場は、1500食を超える調理場であり、対応が可能であるか協議を重ねている。

今後も各調理場栄養士と学校と連絡を密にしながら、安全・安心な給食の提供に努力していく。

鈴木委員長

鈴木委員長

川名課長

・ 質疑応答

・ 4月の特別給食は、具体的にどのようなメニューなのか。

・ 計画停電になると食器が洗浄できなくなるため、パンを中心としたメニューである。

吉田徳男委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の保護者の話だと、物足りなかったようであるという話をよく聞くが、どうであったか。
川名課長	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、特別給食という形で対応したが、他市では自宅弁当の市もあったようである。 ・中学生では、物足りないという予想はついたので、できるだけ大きいパンを発注したが、足らなかったとなれば反省をして今後も努力をしていく。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーをもつ子ども達への対応について、大貫共同調理場での対応は不可能に近いと思うが、現在の具体的な対応方法を教えて欲しい。
川名課長	<ul style="list-style-type: none"> ・献立表を保護者に事前に配布している。更に色分けしたチェック等を養護教諭に付けてもらったりして、できるだけ自宅弁当を用意してもらっているのが現状である。 ・気を付けているつもりが、気を付けて取り除いたつもりが混入していて食べてしまったとなると非常に大変なことになる。栄養士にも調理員にも努力をしてもらっている。
岩波委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は単独調理場なので、比較的対応が取りやすい。 ・食材を記載した月の献立表を作成した時点で保護者にチェックを依頼して、該当食材は全て除去してしまう。 ・保護者の食に対する関心が高まっているが、本当にアレルギーなのか、健康上に支障を来すのか、線引きが難しい事例もある。
吉田徳男委員	<ul style="list-style-type: none"> ・献立の中に何が入っているのか明確になっていれば、その物だけ除けて食べるということができると思う。
川名課長	<ul style="list-style-type: none"> ・当初からすり潰されて混在している食材のように除けられないものもある。除けられるものはできるだけ除けるようにするが、家庭でも協力してもらおうと非常に助かる。 ・万が一のことがあると非常に大変なことになってしまうので石橋を叩いて渡るように安全・安心な給食の供給を第一に考えていく。

<p>鈴木委員長 川名課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事（２）その他について事務局の説明を求める。 ・ 共同調理場の調理業務について、平成２３年８月１日から平成２６年７月３１日までの３年間、長期継続契約を締結した、株式会社丸鈴について説明。
<p>鈴木委員長 全委員</p>	<p style="text-align: center;">会社概要 主な取引先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑応答 ・ 特になし
<p>鈴木委員長 今井主幹</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に意見もないようなので、本日の議事は終了する。 ・ 平成２３年度第１回富津市学校給食運営委員会の閉会を宣言